

# 講座名：アジア・アフリカ研究1

## 注 意 事 項

※ 入学後、勝山稔教授の指導を希望する方には「講座名：アジア・アフリカ研究1」を、大河原知樹教授、朱琳准教授又は木村可奈子准教授の指導を希望する方には「講座名：アジア・アフリカ研究2」を送付しています。

1. この回答は、口述試験時に参考とする重要な資料です。回答の内容は入学試験の合否判定には直接影響しませんが、回答を提出しない場合は、口述試験を受験する意思がないとみなします。
2. 手書き又はパソコンで作成してください。
3. 回答の1枚目冒頭に、受験番号・氏名・志望講座名を明記してください。
4. 作成した回答はPDFファイル形式で提出してください。
5. 回答作成の際に適宜資料を閲覧しても構いませんが、引用もしくは参照する際には必ず出典を明記してください（Chat GPTなど生成AIの回答を含む）。
6. 回答は、他者と相談・協力等を行わずに、受験者本人が一人で作成してください。
7. 回答は口述・面接試験まで保管してください。課題及び課題の回答を見ながら口述・面接試験を行う場合がありますので、試験当日は、課題及び課題の回答をプリントアウトして、手元に準備してください。
8. 課題内容を他所に掲載・転載すること、および他者への配付を禁じます。
9. 下記の方法で提出してください（電子メールでの提出は認めません。）。

提出期限：1月13日（火）17：00（日本時間）【必着】

提出方法：TAOのメッセージ機能にアップロードすること

提出先：東北大学大学院国際文化研究科教務係

令和8年度(2026年度)後期3年の課程 (春季)	志望講座	アジア・アフリカ研究1
------------------------------	------	-------------

課題

以下の問題に日本語で回答しなさい。

中国の歴史学においては、史実と伝承・伝説をどのように区別するかが、長年にわたって重要な課題となってきた。この問題に対して、歴代の学者がどのように取り組み、どのような方法で弁別を行ってきたのかを説明しなさい。また、その流れの中で特に大きな影響を与えた人物(1名)とその著作を挙げ、彼らがどのような根拠に基づいて史実と伝承を区別すべきと考えるようになったのかを述べなさい。